

取付説明書
Ver1.1_180331



このたびは、SPEEDER 商品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品のお取り扱いに関しましてご案内いたします。

●取付け及び決戦を行う前に、この取付け説明書をよくお読みになったうえ、安全に正しく作業してください。

●取付け後もすぐに確認ができる場所に大切に保管してください。

本製品はSPEEDER フルセグチューナー搭載7インチポータブルナビ用地上デジタルTVアンテナです。

アンテナ構成部品について

※地上デジタルTV用フィルムアンテナの接続端子は、ご使用の機種により形状が異なります。
また、他メーカーの機種をご使用中で、接続端子の形状が同じでもご使用にできない場合があります。

※入荷時期により細部のデザイン・仕様が異なる場合がございます。

アンテナ接続端子形状：MMCX オス
地上デジタル TV (フルセグ) 対応機器：HD-066F

1

製品仕様

- A066 (アンテナ (L) 1本 アンテナ (R) 1本:地上デジタルTV (フルセグ) 対応機器用)
- ・総合利得 : 11 dB
- ・周波数範囲 : 470 ~ 770MHz
- ・出カインピーダンス : 50Ω
- ・貼り付け場所 : フロントウインドウ (車内側)
- ・質量 : 片側約70g (アンテナ配線・フィルムアンテナ込み)
- ・電源電圧 : DC8V
- ・消費電流 : 30mA

アンテナ構成部品

商品がお手元に届きましたら、お取り付けになる前に付属品の不足がないかご確認ください。

①フィルムアンテナ (L) ②フィルムアンテナ (R)

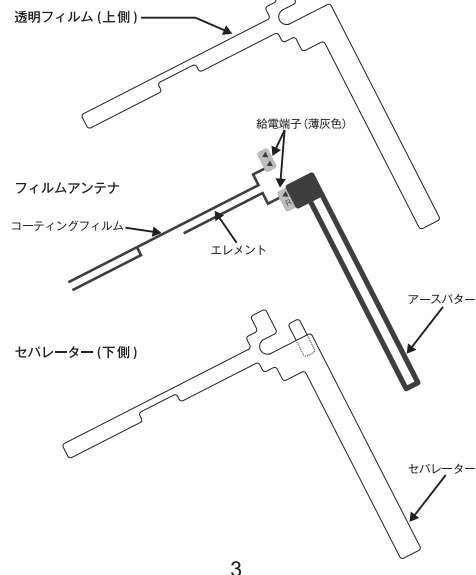


①アンテナケーブル (約5m) x2

2

フィルムアンテナの構成

- イラストは、フィルムアンテナ (R) です。フィルムアンテナ (L) の形状は左右対称です。(タグ表示がRからLに変わります。)
- フィルムアンテナは透明フィルムとセパレーターの間に挟まれています。
- エレメントの薄灰色部分が給電端子です。



3

取付けのご注意

- 車種によって取り付けられない場合があります。
・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。最寄りのディーラーにお問い合わせください。
- 車種によっては、フロントビラーやサンバイザーを取り外すと作業が容易に行える場合があります。なお、フロントビラーにエアバックが装着されている車両は、フロントビラーを取り外さないでください。
- フロントウインドウの指定位置・寸法内に貼りつけてください。
・本商品はフロントウインドウ専用です。それ以外の場所 (リアウインドウなど) には貼りつけしないでください。
・保安基準に適合させるために、本書の「貼り付け位置について」および「貼付け許容範囲」をよくご覧になり、正しく貼りつけてください。貼付け許容範囲をはみだして貼りつけた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付の運輸省 (現、国土交通省) 令第95号をいいます。
- アンテナを接続する機器の取付説明書も併せてご覧ください。

準備するもの

お取り付けに際しては、必要に応じて次のものをご用意してください。

- ・樹脂ヘラ
- ・マスキングテープ
- ・ハサミ
- ・柔らかい布など
- ・ケーブルクリップ (別売)

6

貼りつける前に

本書は右側 (フロントビラー・フルセグ) の取り付け方を説明しています。
左側は対象の作業になります。

1 フロントウインドウの汚れを落とす

- 1 フロントウインドウ (内側) のフィルムアンテナを貼りつける場所を、ガラスクリーナーなどで拭いて十分に汚れを落とすとして乾かしてください。
・貼付け面が完全に乾いていない状態では貼りつかない恐れがあります。フィルムアンテナを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
・フィルムアンテナを貼り付ける面が油分等で汚れていると貼りつきません。
また、冬場など気温の低いときは、デフロスター、ドライヤー等でガラス面を温めてから作業を開始してください。また、フィルムアンテナ自体も温めてください。

貼り付け位置について

- 運転に安全な視界を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず、貼付け手順の図の「貼付け許容範囲」の位置に貼りつけてください。許容範囲外に貼りつけると車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
- 左ハンドル車に貼りつける場合も、右ハンドル車と同様に貼りつけてください。(左右逆に貼りつけしないでください。)
- アンテナは、フロントウインドウの車内側に貼りつけてください。それ以外の場所には貼りつけしないでください。
- アンテナは車検証、点検シールなどと重ならないように貼りつけてください。
- アンテナは ETC 受光部、他の TV アンテナなどから 20mm 以上離して貼りつけてください。
- フィルムアンテナの給電端子部はセラミックライン内に貼りつけしないでください。ショートなど、故障の原因となります。

7

ご使用になる前に

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用および取付・結線作業の前に以下のご注意と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
- お読みになった後はいつでも見られる場所 (グローブボックスなど) に必ず保管してください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

警告



フロントウインドウ以外には貼り付けしないでください。
リアウインドウなど、ガラスにプリントされている熱線、AM、FM アンテナの上に本アンテナを貼り付けると、熱線が切れたりガラスが割れる恐れがあります。



ケーブル類は、取り付け方法の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめてください。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

注意



必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりし、事故や故障の原因となることがあります。



正規の接続をしてください。
火災や事故の原因となることがあります。

4

取付け手順

本書は右側 (フロントビラー・フルセグ) の取り付け方を説明しています。
左側は対象の作業になります。

2 フィルムアンテナの貼り付け位置を決める

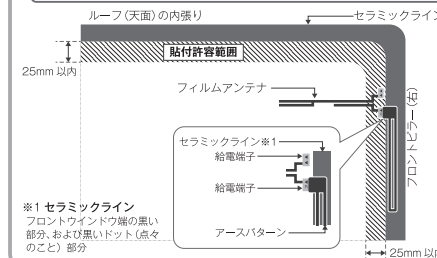
- 1 フィルムアンテナの貼り付け位置は、下図の「貼付け許容範囲」を参照して位置を決めてください。
- 2 マスキングテープなどでフィルムアンテナを仮固定し、車内の内張 (フロントビラーなど) に当たらないことを確認してください。
- 3 ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

ご注意

- ・フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。

貼付け許容範囲

- フィルムアンテナの給電端子部はセラミックライン上または、内張りにも重ならないように必ず貼付け許容範囲内 (斜線部) に貼りつけてください。
- アースパターンはセラミックライン上に貼りつけても問題ありません。
- 取付け許容範囲をはみ出して貼りつけた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。



※1 セラミックライン
フロントウインドウの黒い部分、および黒いドット (黒々のごと) 部分

8

5